

(仮称) 千葉市立幕張海浜病院 清掃等業務委託 特記仕様書

業務内容

清掃等業務仕様書（開院前）

1 対象期間

令和8年5月1日から令和8年9月30日まで

2 一般区域等・清潔区域・感染対応病棟（5F）

病院内の一般区域等・清潔区域・感染対応病棟（5F）を対象とする日常及び定期清掃を主な業務とし、施設の維持保存と損耗の防止、微生物による汚染、拡散の防止等を適合した技術によって処理し、常に良好な環境衛生の維持と美観を保持するとともに、院内感染の防止に努めること。

なお、清掃は「清掃業務作業手順書」（※特記事項（1）参照のこと）に従い実施し、必要があればその都度内容を見直すこと。

（1）日常清掃

月曜日から金曜日までを基準とし、毎日・週間単位で行う業務とし、別表1-1「清掃作業基準表（開院前）」に定める部位・回数を最低限実施すること。

（2）定期清掃（開院直前の令和8年9月に実施想定）

ア 床面洗浄・灯具清掃・空調給排気口清掃

別表1-1「清掃作業基準表（開院前）」に基づき実施。

イ ガラス清掃

作業範囲は、別表1-1「清掃作業基準表（開院前）」に示す面積（片面の概算面積）のガラスについて、両面を清掃する。

（3）塵芥収集運搬及び塵芥庫等の維持管理

月曜日から金曜日において、原則、日中1回の収集運搬を実施するものとするが、現場の状況により適宜行うこと。なお、収集運搬時間は、発注者との協議による。

3 特記事項

（1）「清掃業務作業手順書」は、原則、病院運営・管理等の諸条件に基づき清掃業務受注者が開院前清掃業務開始までに作成し、発注者側の承認を得ること。

（2）清掃業務における消耗品費に計上する品目は、トイレットペーパー・ハンドタオル・ハ

ンドソープ・尿石防止剤とし、受注者の見積費用に含めるものとする。なお、その他の消耗品費の負担については、別途協議とする。

清掃業務仕様書（開院後）

1 対象期間

令和8年10月1日から令和11年3月31日まで

2 一般区域等

病院内の一般区域等を対象とする日常及び定期清掃を主な業務とし、施設の維持保存と損耗の防止、微生物による汚染、拡散の防止等を適合した技術によって処理し、常に良好な環境衛生の維持と美観を保持するとともに、院内感染の防止に努めること。

なお、清掃は「清掃業務作業手順書」（※特記事項（1）参照のこと）に従い実施し、必要があればその都度内容を見直すこと。

（1）日常清掃

月曜日から金曜日までを基準とし、毎日・週間単位で行う業務とし、別表1－2「清掃作業基準表（開院後）」に定める回数を最低限実施すること。また、土日祝日及び年末年始は簡易清掃（※特記事項（2）参照のこと）とし、病棟のごみ回収・トイレ・洗面台の清掃を行うほか、人通りの多い廊下の清掃等、日常清掃の補完作業を行う。

なお、場所及び各諸室の環境に応じた区域ごとに作業方法を定め、実施するものとする。

また、外来エリア等、感染症拡大防止対策が求められる区域については、ベンチ、手すり等手に触れるところのアルコール消毒等を実施する。ごみの回収頻度については各場所のごみの発生状況に応じて協議の上、頻度を調整できるものとする。各区域については、病院清掃の基本となる清浄度クラスに準じるものとし、以下のとおりとする。

ア 一般区域（清浄度クラスⅣ）

外来診察室、処置室、一般病室等を対象とし、以下に示す基本事項を遵守し、清潔清掃を行うこと。

なお、当該区域の清掃は、ダストコントロール（DCS）及び除菌清拭技術（MDS）を適用し、床面ワンパス清拭を徹底し清潔区域に準じる清潔さを保持すること。

イ 汚染拡散防止区域（清浄度クラスⅤ）

トイレ、浴室、汚物室、洗濯コーナー、ゴミ庫、廃棄物保管庫等を対象とし、以下に示す基本事項を遵守し、清掃を行うこと。

なお、当該区域は、院内感染リスクが高い場所であることからDCSよりもMDSに重点を置き除菌処理を行うこと。

ウ その他の一般区域（清浄度クラスⅣ）

風除室、待合ホール、ラウンジ、エレベーターホール、廊下、階段、事務スペース、会議室、倉庫、調乳室の簡易ベッド、おむつ替えベッド等を対象とする。

なお、当該区域は、不特定多数の人が集まる場所であることから、直接的に手を触れる機会の多い箇所については、重点的に除菌剤で清拭する。

（２）定期清掃

定期清掃は、年間計画に基づき、以下に準じて床面の洗浄作業を実施する。作業頻度については、別表１－２「清掃作業基準表（開院後）」に定める回数を基本とするが、汚染が顕著な箇所等があれば、適宜、回数を追加するなど、日常清掃と組み合わせて清潔な環境衛生を維持すること。

ア 床材別定期清掃作業

定期清掃作業は、床材ごとに適切な手順で実施する。

イ ガラス清掃

事前に作業計画届を提出の上、建物内外の窓ガラス清掃を実施する。作業にあたっては、事前に関係部署と協議の上、診療体制及び患者に迷惑がかからないように実施する。

作業範囲は、別表１－２「清掃作業基準表（開院後）」に示す面積（片面の概算面積）のガラスについて、外面・内面ともに清掃する。

ウ 特別清掃作業

照明器具・空調給排気口の清掃については、別表１－２「清掃作業基準表（開院後）」に定める回数を基本とする。高所天井・壁面・額・カーテンレール・案内板・案内表示器・ガラス仕切り板・窓枠・扉上部等、日常清掃で取りきれない汚れの除去については、実施頻度・清掃対象範囲等、別途協議のうえ実施する。

エ ベランダ、軒下及びピロティ、屋外出入口等

床（タイル、コンクリート等）、手摺りは、鳥の糞・埃・土砂・落葉・クモの巣等で見苦しい状態にならないように適宜清掃する。また、天井面等の汚れを適宜清掃する。

（３）塵芥収集運搬及び塵芥庫等の維持管理

月曜日から土曜日において、原則、午前１回、午後１回、日曜日・祝日及び年末年始においては、原則、日中１回の収集運搬を実施するものとするが、現場の状況により適宜行うこと。なお、収集運搬時間は、発注者との協議による。

３ 清潔区域

病院内で清潔区域を対象とする日常及び定期清掃を主な業務とし、施設の維持保存と損耗の防止、微生物による汚染、拡散の防止等を適合した技術によって処理し、常に良好な環境

衛生の維持と美観を保存すると共に、院内感染の防止に努めること。

なお、清掃は「清掃業務作業手順書」に従い実施し、必要があればその都度内容を見直すこと。

(1) 日常清掃

月曜日から土曜日までを基準とし、毎日・週間単位で行う業務とし、別表 1－2「清掃作業基準表（開院後）」に定める回数を最低限実施すること。また、土日祝日及び年末年始は簡易清掃とし、病棟のごみ回収・トイレ・洗面台の清掃を行うほか、人通りの多い廊下の清掃等、日常清掃の補完作業を行う。

感染症拡大防止対策が求められる区域については、ベンチ、手すり等手に触れるところのアルコール消毒等を実施する。

ア 清潔区域（清浄度クラスⅡ・Ⅲ）

手術室、ICU、HCU、無菌室、血管造影室、分娩室等を対象とし、以下に示す作業手順に従い清掃を行うこと。なお、当該区域の清掃はダストコントロール（DCS）及び除菌清拭技術（MDS）を適用し、床面ワンパス清拭を徹底し清潔さを保持すること。

(2) 定期清掃

定期清掃は、年間計画に基づき、以下に準じて床面の洗浄作業を実施する。作業頻度については、別表 1－2「清掃作業基準表（開院後）」に定める回数を基本とするが、汚染が顕著な箇所等があれば、適宜、回数を追加するなど、日常清掃と組み合わせて清潔な環境衛生を維持すること。

ア 床材別定期清掃作業

定期清掃作業は、床材ごとに適切な手順で実施する。

イ ガラス清掃

事前に作業計画届を提出のうえ、建物内外の窓ガラス清掃を実施する。作業にあたっては、事前に関係部署と協議のうえ、診療体制及び患者に迷惑がかからないように実施する。

作業範囲は、別表 1－2「清掃作業基準表（開院後）」に示す面積（片面の概算面積）のガラスについて、外面・内面ともに清掃する。

ウ 特別清掃作業

照明器具・空調給排気口の清掃については、別表 1－2「清掃作業基準表（開院後）」に定める回数を基本とする。高所天井・壁面・額・カーテンレール・案内板・案内表示器・ガラス仕切り板・窓枠・扉上部等、日常清掃で取りきれない汚れの除去については、実施頻度・清掃対象範囲等、別途協議のうえ実施する。

(3) 塵芥収集運搬及び塵芥庫等の維持管理

月曜日から土曜日において、原則、午前1回、午後1回、日曜日・祝日及び年末年始においては、原則、日中1回の収集運搬を実施するものとするが、現場の状況により適宜行うこと。なお、収集運搬時間は、発注者との協議による。

4 感染対応病棟（5F）

病院内の感染症対応区域を対象とする日常及び定期清掃を主な業務とし、施設の維持保存と損耗の防止、微生物による汚染、拡散の防止等を適合した技術によって処理し、常に良好な環境衛生の維持と美観を保存するとともに、院内感染の防止に努めること。

作業内容は前述の2、3と同様とし、病室内の環境衛生の維持と美観を保持することを目的とする。

作業時は監督員及び感染対策室の指示に従い、防護服等は発注者が支給する。

5 特記事項

(1)「清掃業務作業手順書」は、原則、病院運営・管理等の諸条件に基づき清掃業務受注者が開院前清掃業務開始までに作成し、発注者側の承認を得ること。

(2) 一般区域等における土日祝日及び年末年始に実施する簡易清掃では、病棟のごみ回収を日中に1回、トイレ・洗面台の清掃は巡回清掃として日中1回実施する。その他廊下等の清掃については、清掃範囲・頻度など発注者と別途協議の上、実施する。

(3) 清掃業務における消耗品費に計上する品目は、トイレットペーパー・ハンドタオル・ハンドソープ・尿石防止剤とし、受注者の見積費用に含めるものとする。なお、その他の消耗品費の負担については、別途協議とする。